

CASBEE-建築(新築)2016年版 (仮称)Landport京都市南新築工事		■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)				
スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境						2.8
1 音環境		3.4	0.15			3.4
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遮音		4.2	0.40			
1 開口部遮音性能	T-2を採用	5.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		2.3	0.35			2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		1.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		2.6	0.25			2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に採用している。	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.2	0.40			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.50			
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30			
1 広さ感・景観	天井高3.0m	5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機の設	5.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	タイルカーペット t=6.5:20年ビニルクロス:20年.岩綿吸音板 t=9.0:	5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B), 排水VP(B), 給湯SUS(C), Eは不使用。	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		3.0	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

3	対応性・更新性		3.1	0.30				3.1
	3.1 空間のゆとり		3.4	0.30				
	1 階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60				
	2 空間の形状・自由さ		1.0	0.40				
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30				
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40				
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20				
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20				
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10				
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10				
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20				
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3	室外環境(敷地内)			0.39				2.4
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30				2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40				3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30				2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50				
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR	建築物の環境負荷低減							3.7
LR1	エネルギー			0.40				4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.59	5.0	0.20				5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10				3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.55	5.0	0.50				5.0
4	効率的運用		3.0	0.20				3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00				
	4.1 モニタリング		3.0	0.50				
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50				
	集合住宅の評価							
	4.1 モニタリング							
	4.2 運用管理体制							
LR2	資源・マテリアル			0.30				3.1
1	水資源保護		3.4	0.20				3.4
	1.1 節水	節水型便器を採用している。	4.0	0.40				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60				
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60				2.8
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20				
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20				
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10				
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGSを使用し躯体と仕上げ材が容易に分別可能。再利用できるユニット部材としてOAフロアを使用	5.0	0.20				
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20				3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30				
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70				
	1 消火剤		-	-				
	2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン製品を使用している。	5.0	0.50				
	3 冷媒		3.0	0.50				
LR3	敷地外環境			0.30				3.5
1	地球温暖化への配慮	LOGO2排出率が78%	3.9	0.33				3.9
2	地域環境への配慮		3.3	0.33				3.3
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25				
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25				
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25				
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25				
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33				3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40				
	1 騒音		3.0	0.33				
	2 振動		3.0	0.33				
	3 悪臭		3.0	0.33				
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40				
	1 風害の抑制		3.0	0.70				
	2 砂塵の抑制		1.0	-				
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30				
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20				
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が4ポイント。	5.0	0.70				
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)Landport京都南新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	2.0	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	-	1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSG - 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -															
3.1.1 昼光率															
昼光率 0.0%															
4.2.2 自然換気性能															
自然換気有効開口面積率 3.3%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース 6.0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
コンセント容量 30.0 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 3 m															
1.2.2 リフレッシュスペース															
リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 30 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 20 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 20 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 6.58 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 0.0%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 - N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
外構緑化指数 22% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
空地率 46% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 10% 舗装面積率 35%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPIm 0.59 断熱等性能等級 対象外 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 80.0% 採光を満たす住戸数 80.0%															
通風を満たす教室数 80.0% 通風を満たす住戸数 80.0%															
BPI/BPIm 非住宅 0.55 住宅 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
3 設備システムの高効率化															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 0															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 67% 隣棟間隔指標Rw 1.07															
地表面対策面積率 10.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積Gb 2.622㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 119 m 基準高さHb 32.83 m															
緑地 1.142㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															